

科目区分	専門教育科目	授業科目名	発達心理学Ⅱ			科目コード	26Y306	担当者	小槻 智彰			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	講義	履修条件	「発達心理学Ⅰ」を履修していること。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、生涯にわたる心身の発達について授業を行う。									科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	保育者・教育者として子どもに関わる際に必要な人間の発達に関する基礎的事項について学ぶ。学童期・青年期・壮年期・老年期の発達の特徴を理解し、生涯発達の視点から保育・教育実践との関わりについて考える。また、発達にみられる「障害」に関する基礎的事項についても学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。小テストの解答の解説を授業内で行う。
授業の方法	パワーポイントスライドと映像資料を使用した講義形式を基本とし、教員が作成した授業資料を配布する。受講生は各授業の最後にミニッツペーパーを提出する。2回目以降の授業では最初に小テストを実施する。一部の回ではICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら進める。	アクティブ・ラーニングの実施方法	発達と保育・教育の関係を考えるために、一部の授業回において受講生は事例の検討を行い、その内容に基づいてグループディスカッションを行う。授業内容の振り返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	親の心理と子どもの発達	事前：子どもの発達と関わる親の心理について自分の考えをまとめる。 事後：親の心理と子どもの発達についての要点をまとめる。
第2回	学童期の発達の特徴：9歳から10歳の発達の節目・ギャングエイジ・規範意識	事前：自分や身近な人の学童期の集団活動や規範意識についてまとめる。 事後：学童期の発達の特徴についての要点をまとめる。
第3回	青年期の発達の特徴：仲間関係・アイデンティティ	事前：自分の仲間関係やアイデンティティについてまとめる。 事後：青年期の発達の特徴についての要点をまとめる。
第4回	成人期の発達の特徴：働くこと・親になること・中年の危機	事前：成人期にある身近な人の特徴についてまとめる。 事後：成人期の発達の特徴についての要点をまとめる。
第5回	老年期の発達の特徴：老いること・死に対する意識・認知症	事前：老年期にある身近な人の特徴についてまとめる。 事後：老年期の発達の特徴についての要点をまとめる。
第6回	発達と障害①：自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症	事前：自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症について調べる。 事後：自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症についての要点をまとめる。
第7回	発達と障害②：限局性学習症、発達性協調運動症	事前：限局性学習症、発達性協調運動症について調べる。 事後：限局性学習症、発達性協調運動症についての要点をまとめる。
第8回	生涯にわたる発達	事前：人間の生涯にわたる発達について自分の考えをまとめる。 事後：生涯発達の視点から発達と保育・教育実践との関わりについて要点をまとめる。

事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回
-----------------------	-----------

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房	受講生へのメッセージ	人間が生涯にわたって発達をすることをふまえて子どもの保育・教育を実践することができるように、学童期から老年期までの発達の特徴に関する知識を身に付けましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	幼稚園教育要領/文部科学省、幼稚園教育要領解説/文部科学省、保育所保育指針/厚生労働省、保育所保育指針解説/厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/内閣府・文部科学省・厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説/内閣府・文部科学省・厚生労働省		

